

# 令和3年度 東京都自立支援協議会セミナー 実施報告

資料7

## 1 概要

**目的：**東京における共通課題や取組、自立支援協議会活動の活性化策などについて、本会議での検討等を踏まえた講演等を実施し、広く関係者へ情報発信を行い、自立支援協議会活動の普及啓発を図る。

**実施方法：**参加者は、会場参加又は動画視聴を選択

### (1) 会場参加

日時：令和3年12月13日（月曜日）13時20分から16時10分まで  
場所：東京都庁第一本庁舎 5階大会議場

### (2) 動画視聴

配信期間：令和3年12月22日（水曜日）9時から  
12月28日（火曜日）17時まで

**対象者：**一般都民、障害当事者・家族、地域自立支援協議会委員・事務局関係者、区市町村職員、相談支援事業所等職員、障害者支援に携わる者、その他

**広報：**チラシの作成・配布（約3,900枚）

- ・当センター、東京都障害者サービス情報ホームページへの掲載
- ・区市町村主管課長会等での説明、周知依頼
- ・「福祉保健」10月号、「広報東京都」11月号等への掲載依頼

**参加者数：**152名（会場参加）

※参考 動画視聴申込者 328名

(1) 受講者 124名

（視聴者数は不明）

所属等別内訳（複数該当があるため、受講者数と一致しない。）

所属等	人数
障害当事者・家族	22名
相談支援事業所	28名
障害福祉サービス等事業所	34名
就労支援機関等	16名
入所施設等	15名
医療機関	3名
民生委員・児童委員	2名
地域自立支援協議会委員等関係者	13名
行政	19名
その他	8名

(2) 聴講者 28名

東京都自立支援協議会委員（登壇者1名を除く。）	11名
東京都自立支援協議会連絡調整会議委員	6名
東京都心身障害者福祉センター職員	11名

## 2 プログラム

テーマ 本人中心の暮らしはこうして実現する！

### 第1部 全国の地域移行・地域生活の効果的な支援モデル ～本人の望む暮らし・家族、支援者、地域は変わる～

<講師>

新藤 健太 氏（群馬医療福祉大学社会福祉学部講師）

<概要>

全国の地域移行の素晴らしい実践をインタビュー調査した分析結果や、そこから開発した効果的な支援モデル等についてお話いただいた。

- ・全国の素晴らしい実践をする16法人にインタビュー調査を実施
- ・インタビュー調査で、①ゴール・ミッション、②利用者や家族、地域（社会）、支援職員を対象にした働きかけについて調査
- ・インタビュー調査のデータを分析し、効果的な支援モデルを提案

### 第2部 地域移行、私の想いは伝わった？

<パネリスト>

上田 久美子 氏（社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会杉並育成園すだちの里すぎなみ利用者、杉並区障害者地域相談支援センター高円寺（すまいる高円寺）非常勤職員（事務補助））

二宮 史子 氏（社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会杉並育成園すだちの里すぎなみ副施設長）

柳沢 陽子 氏（元入院患者）

古橋 陽介 氏（社会福祉法人ひらいらいミナル相談支援センターくらふと主任相談支援専門員）

<コメンテーター>

新藤 健太 氏（群馬医療福祉大学社会福祉学部講師）

<コーディネーター>

岩本 操 氏（東京都自立支援協議会会長、武蔵野大学人間科学部人間科学科教授）

<概要>

障害や難病のある方が、自分の望む暮らしがしたいと思った時、その時の周囲の支援、生活体験を通じた地域移行への実現等についての発表とディスカッション